

《コミュニティ講座》

久米のコミュニティを考える

“地域に開かれたコミュニティ”は、失われていく地域社会での人間関係の衰退を、どのようにして望ましい人間関係につくりあげていくのが課題の一つでもあります。

このたび、コミュニティ推進協議会が主催で広島大学学校教育学部土井利樹先生をお招きし、コミュニティを進める講座が2月15日、22日と3月1日の3回、久米公民館を会場として開催され各団体等から55名が参加し熱心に受講されました。(記事は第1回講座の一部)

コミュニティとは人間が住みやすいこと。

人とよく知りあっているとか、環境が美しいとか、電灯が沢山あってまちが明るいとか、生活がし易いとか、人々によって住みやすい意味が違ってきます。住やすさを満たす柱となる地域づくりとは何だろうか。

みな住みやすい地域づくり。例えば、地域で子供を健全に育てることを考えても一今の子供は急激に変わってきています。それを大人は理解できないところにも問題があります。子供の健全な育成には、大人と子供が相互に認知することが重要なポイントで、それは、まず地域の子供の名前が覚えられ話し合えることが地域づくりの前提です。

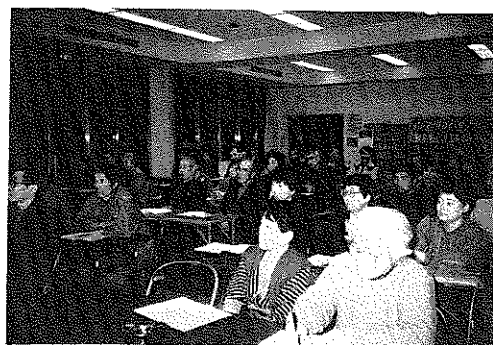
地域には一定程度の約束ごとがある。これは広島の高陽団地の“まちづくり”の例であります。何千戸の住宅が売りに出されました。しかし、全戸が一度に分譲されません。



暮らしている地域の中でできる「自助」と「互助」高齢化四苦と四つの苦しみがあります。一つはお金なくなる貧苦。二つ目は健康な体が病気になる病苦。この二つは今の社会「公助」によって国から面倒を見てもらえます。しかし、何もするすべがない無為苦と孤独苦の二つは、自分自身が考え努力できる「自助」で、これが自分の生き甲斐、地域づくりにつながります。

暮らしている地域の中で、今、自分が「寝たきり老人」をかかえているとします。せめて1日、ゆっくりしたい。「私がかわってお世話しますから、どうか心配なく行ってらっしゃい」。他者との協力ぬきにはどうしようもない社会が今の社会です。ここに、「互助」のもつ地域づくりの重要さがあります。

翼をもたないで地域の中で暮らしている者働く父親は翼をもって地域を離れて仕事に生き甲斐をもち、やがては高齢化して翼を失い地域にかえってきます。親は子供に生き甲斐を託しますが、やがて子供は成長し翼をもって親から地域から飛び去っていきます。今の地域は、翼をもたない高齢者と子供、そして母親から構成され、この人達に地域づくりが託されておるのです。人間は生きる支えを求め、その支えの柱を地域の中にどう立てるかが自分の生き甲斐と地域の課題なのです。



もし、全戸が分譲され一斉に入居することになれば、入居者の高齢化は同じ年代にやってきて大変な地域に生まれかわります。

住みよい地域のためには、年齢構成を考え、今の住民が将来のために約束ごとを決めておくことが大切なのです。これは巨視的な面からの地域づくりといえます。

コミュニティくめ

手をつなぐ
伸びゆく我がまち
我が郷土

(第9号)

平成元年 3月5日 発行
久米地区コミュニティ推進協議会
事務局：久米公民館内



〈ふれあうまち〉坂本

(次号は他地域)

会長退任のごあいさつ

久米地区コミュニティ推進協議会

前会長 林 和美

住みよい地域社会をつくるため、久米地区の各種団体と相協力し、ふれあいを深め連帯意識の高揚を図る目的で、昭和56年10月久米地区コミュニティ推進協議会が結成され、不肖私が約7年間会長をつとめましたがこのたび任期満了にともないその職を辞任いたしました。

その間、若輩不敏な私に対し格段のご理解ご協力を賜りましたことを謹んで厚く御礼を申し上げます。

皆様のご期待にもかかわらず在任中活動は遅々として見るべきこともなく、幾多の問題により各種関係者の皆様に多大のご迷惑をおかけしたことを衷心よりお詫び申し上げます。

これからのコミュニティ活動が関係各位のご英知ご熱意のもと地区の皆様のご理解により組織の趣旨に副ってご発展されることを心から切望し退任のごあいさついたします。

信頼と連帯で開かれた
地域づくりのあるべき姿を目指して

久米地区コミュニティ推進協議会
総会（幹事会） 6月21日

コミュニティ推進協議会の総会（幹事会）が
昨年6月21日、協議会を構成します自治会
連合会、体育振興会及び婦人会の合同役員（幹
事）をもって開催され、昭和62年度の決算の
承認と昭和63年度の事業及び予算並びに懸案
の「コミュニティ組織の見直しと拡大強化対
策」などが検討されました。

この総会で任期満了で辞任されました協議
会の林和美会長、高橋貞彦副会長のそれぞれ
の後任者が決まるまで、懸案の解決とこれか
らの運営に関し会長代行として自治会連合会
会長、体育振興会会長及び婦人会会長がす
めることが申し合わされました。

久米地区コミュニティ推進協議会組織等
改善準備委員会の発足（第1回）11月1日

6月21日の協議会総会（幹事会）の議決事項にも
とづきコミュニティ推進協議会組織等改善準備委員
会が結成されました。

この組織等改善委員会では、コミュニティの方向
はそれぞれの団体等の側にあること、すなわち、地
域の住民側にあることを確認し、開かれたコミュニ
ティ組織、開かれたコミュニティ規約はどうあれば
よいか、協議会の運営・活動を「地域へとどけ知ら
せる活動」はどうあればよいかなどの話し合いが夜
遅くまで行われました。



久米地区コミュニティ推進協議会組織等
改善準備委員会（第2回）11月25日

前回の組織改善準備委員会の開催に引き続
き、個々の委員により連絡協議や作業が
重ねられ、第2回の組織等改善準備委員会がも
たれました。

今回の準備委員会は、主として「久米地区
コミュニティ組織（規約と細則）、信頼と連帯
で開かれた地域づくりの在り方」と住民とし
て「生きることを学び、学びながら生きる生
涯学習社会へ向けての地域の在り方」はどう

あればよいかなどについて、また、団体や自
主的学習グループの間の調整、そして補完の
し方の話し合いが行われました。

さらに、開かれた組織づくりに団体等及び
機関等に賛同と協力が得られるよう、コミュニ
ティの目標及び目標に向っての課題等々、次
に揚げますような趣意書（案）の作成がなさ
れました。

久米地区コミュニティ推進協議会

総会（臨時・幹事会）平成元年1月17日

〈協議会組織等改善準備委員会構成〉

- 自治会連合会 ○体育振興会
- 婦人会 ○社会福祉協議会
- 民生児童委員協議会 ○連会寿会
- 久米小学校PTA ○太華中学校PTA
- 徳山市コミュニティ研究委員
- 徳山市社会教育委員

久米地区コミュニティ推進協議会の組織
等改善による住みよい地域づくり趣意書

久米地区コミュニティ推進協議会は、昭和56年に久米地区自治会連合会、久米地区体育振興会及び久米婦人会の三団体をもって構成発足し、行事の実施に伴い関係団体等のご協力と援助を得て、今年で7年を経過したことになります。ご存じのように、コミュニティは、いま質的に変化してきております久米地域を山発点とし、住民一人ひとりが地域の生活・地域の人としての関係において「相互に信頼しあって連帯感のある住みよい社会・まちにして行く」ことを目標といたしております。

そのためには、住民一人ひとりを代表します各種の団体が組織をつくり、それぞれの団体の活動を理解し調整しあつてすすめる「コミュニティ推進協議会」が地域の発展に、また、開かれた地域づくりに欠くことのできない重要なことにならうかと思ひます。

昭和56年から現在まで、発足当時の事情もありましてさきに述べましたよう少数の団体をもって構成運営してまいってまいりましたこの推進協議会を、ここで信頼と連帯で開かれた地域づくりのあるべき姿を目指し、久米地域に現に在ります団体及び機関、それらご理解とご賛同が可能な団体で再構成、組織し、新たに出発したいと思っております。

つきましては、既存の久米地区コミュニティ推進協議会の再構成、組織の改善等により再出発の趣意をご理解いただき、住みよい久米地域、明るい地域づくりにご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

平成元年1月17日

昨年6月21日、年度当初の定時にあたる協議会総会以後、数か月にわたる組織等改善準備の作業がすすめられ、懸案の成案を見るはこびになりました。そこで、次に揚げます成案の審議と承認のため臨時総会が開催されました。

〈審議と承認を受けたおもな事項〉

- 久米地区コミュニティ推進協議会規約の改正（案）に関する事。
- 久米地区コミュニティ推進協議会細則（案）に関する事。



○久米地区コミュニティ推進協議会組織等改善趣意書（案）に関する事。

など、平成元年度の協議会総会へ向けての付随する事項に関するものを会長代行に委任する議決がなされました。

平成元年度の総会へ向けて

久米地区コミュニティ推進協議会会議2月8日



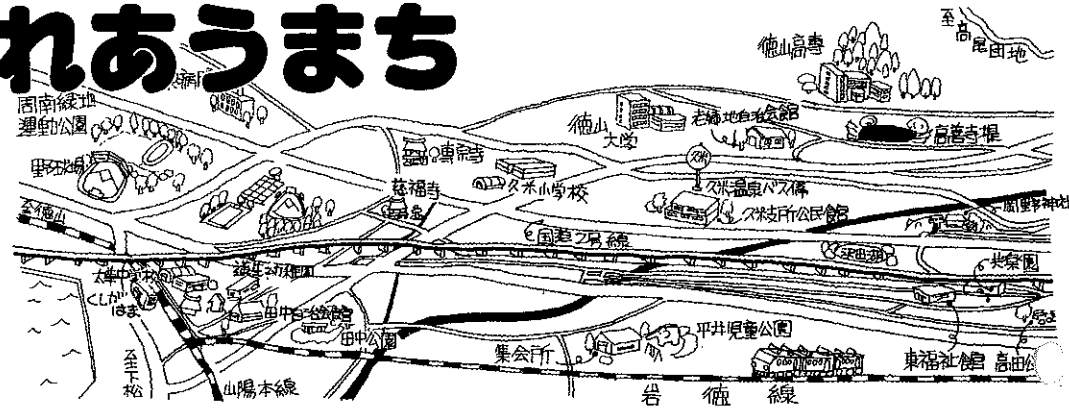
久米小学校 太華中学校 東福祉館
久米公民館 学識経験者

趣意書にありますよう相互に「信頼と連帯
で開かれた地域づくりのあるべき姿を目指し
て」に賛同と協力をいただいた構成団体等の
会議が行われました。ここで、平成元年度の
総会開催へ向けての組織の改善等について経
過報告がなされ、また、意見が述べられました。

〈構成団体等及び機関等〉

- 自治会連合会 体育振興会 婦人会
- 社会福祉協議会 民生児童協議会 寿会
- 三葉会 戊申婦人部 遺族会 消防団
- 母子保健推進協議会 スポーツ少年団
- 久米小PTA 太華中PTA

ふれあうまち



昭和史の最後を飾るイベント大集合!!

(昭和63年度行事から)



戦没者追悼会法要が遺族約80名の参列のもと厳粛盛大に執り行われました(5月19日)



東部地区は見事二年連続優勝
シルバースポーツ大会(5月8日)



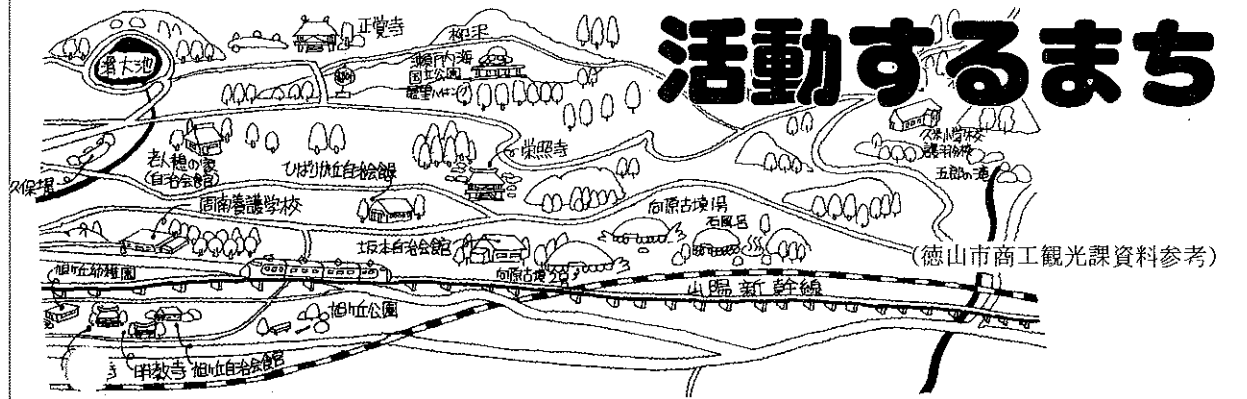
地区球技大会

第9回ふるさと夏まつり 子どもたちにとって“祭”は楽しみの一つです。いい思い出を作ってやりたいですネ!
(7月30日)



激動の昭和から

活動するまち

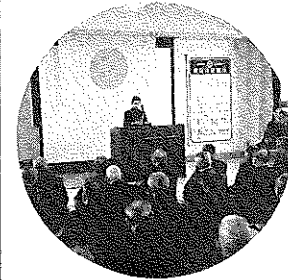


(徳山市商工観光課資料参考)

光り輝く平成へ

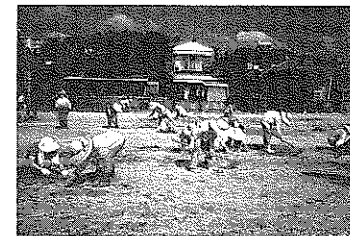
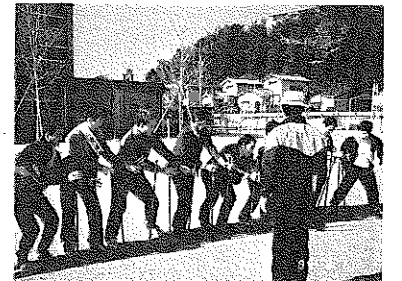


平成元年建国記念の日行事



みんなで考え
みんなで参加

(2月11日)



“年はとっても社会奉仕は率先してやらにゃあ”

(9月20日)



久米の女性は強い? 弱い?
“市民スポーツ大会”

(10月10日)



香り高い文化を伝えたい
“地区文化祭”

(11月20日)